

●分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	センター内に公認心理師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師等の専門職を配置しており、また、相談支援事業所と併設もしていることから、保護者・こどものニーズに対して、必要な支援内容の検討・提供について連携を図っています。	対応困難なケースについては、担当者だけでなくセンター内の専門職等と連携しながら、丁寧な支援ができるよう心がけています。	引き続き、多職種との連携を意識しながら支援の幅を広げていきます。
2	市内で関わっているこども、保護者、支援者のニーズや現状に対応できるような内容の研修会を企画、実施しています。	市内の指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業所及び障害児通所支援事業所・認定こども園・保育園・幼稚園・小中学校・支援学校等職員に児童発達支援センター主催研修会の案内をし、様々な立場の支援者が、支援に対する共通言語を持つことができることを意識して取り組んでいます。	研修で受けた内容を保育所等訪問支援で活かすことができるよう、必要に応じて研修内容を訪問員同士と一緒に振り返ったり、こどもの姿と照らし合わせ伝えることで、訪問先の支援者との共通理解を深めていけるようにしています。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援事業のニーズが増えてきている中、訪問員が複数の業務と兼務しているため、緊急時の対応や日程変更があった時には、日程調整が困難になることがあります。	保育所等訪問支援事業担当者が複数の業務との兼務をしているため、緊急時の訪問先への連絡や、訪問日程の振替等の調整が必要な際に、迅速に対応できるよう考えていく必要があります。	引き続き、担当者間での情報共有は丁寧に行いながら、緊急時には担当者でなくても対応していけるようにしていきます。

●今後の改善に向けた取り組み

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	・必要に応じてセンター在籍専門職らと相談し、教材準備をしています。 ・教員に関しては十分な備品がそろっているわけではありません。	支援に必要な教員教材は作成するだけでなく、必要なものは計画的に購入を検討していきます。
	2 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	都度、訪問の状況について共有するようにしています。	引き続き行っていきます。
適切な支援の提供	3 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	医療機関等で検査を実施しているのであれば、共有し支援につなげています。また、行動観察では訪問員の主観にならないよう、行動の前後の場面の様子や、児の特性を理解した行動観察を実施するよう心がけています。	引き続き行っていきます。
	4 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	複数で訪問する際は、移動中など限られた時間ではありますが、支援内容や訪問時に児童を見るポイントなどを共有・確認しています。また、訪問前にその時の訪問内容についての確認を行っています。	共有できる時間を意識的に作っていきます。
	5 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	複数で訪問する場合は連携しています。単独訪問の場合は、毎回の確認はできていません。	共有できる時間を意識的に作っていきます。
関係者との関係や連携保護	6 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	保育所等訪問支援事業の訪問員としては参加できていません。児童発達支援センター職員としては、子育てに関する会議などには参加しています。	引き続き行っていきます。
	7 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	保育所等訪問支援事業の訪問員としてではなく、児童発達支援センター職員としては家族支援プログラムの実施などはできています。	保育所等訪問支援事業としての家族支援プログラムについて、今後研究し必要に応じて実施できる体制づくりを検討します。
保護者への説明等	8 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	訪問支援事業においては保護者の交流の場の設定などはできていません。	実施について、現時点では考えていません。
	9 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	センターとしてSNSやホームページの更新を行っていますが、保育所等訪問支援事業についての発信はできていません。	必要に応じて今後検討していきます。
非常時の対応	10 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	周知はしていますが、緊急時のマニュアルであるため、十分な理解には至っていません。	業務継続計画を基に保護者にも伝えていきます。
	11 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	児童発達支援センターとして実施しています。	引き続き行っていきます。